

北大病院心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院 心エコー検査室では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 超音波法を用いた心不全患者のうっ血肝診断と予後予測

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 加賀 早苗（超音波センター・副部長／准教授）

[研究の目的]

心不全はほとんどすべての心疾患に合併し、心不全患者さんの数は社会の高齢化や生活習慣病の増加などを背景として世界で急増しています。心不全において右房圧が上昇すると、心臓に戻るはずの血液が肝臓に滞留してしまうことで肝障害が起こります。この心臓のはたらきが低下した結果として生じる肝障害はうっ血肝として知られており、肝臓のうっ血状態が長い間持続すると肝硬変に進展し、生命予後を大きく左右するため、その診断はたいへん重要です。超音波検査（エコー検査）を用いれば、身体に負担を与えることなくうっ血肝を評価することが可能と考えられますが、その明確な診断基準はいまだ確立されていません。そこで、私たちは、うっ血肝を正確に診断するための超音波指標を用いたスコアを確立し、その有用性を、心内圧測定（心臓カテーテル検査）と血液生化学的検査の結果との比較に基づき検討したいと考えています。

[研究の方法]

●対象となる方

2018年1月から2025年3月までの間に、北海道大学病院循環器内科または呼吸器内科に入院し、超音波検査、心臓カテーテル検査ならびに血液生化学的検査を受けた患者さん。

●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、家族歴、身体所見、血液生化学的検査結果、血漿中の脳性ナトリウム利尿ペプチド（BNP）濃度、N末端プロB型ナトリウム利尿ペプチド（NT-proBNP）、臨床経過ならびに治療内容を調査させていただきます。
2. 入院中の超音波検査記録から、一般的心エコー指標に関する情報、肝サイズ、肝静脈径、肝臓の硬さを調査させていただきます。また、心臓カテーテル検査記録を用いた調査を行います。

[研究実施期間]

病院長による実施許可日～2027年3月31日（登録締切日：2025年3月31日）

[個人情報の取り扱い]

この研究に関して、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

本研究の実施にあたり、研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、ご住所など、患者さんを特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 超音波センター・副部長／准教授 加賀 早苗（研究責任者）

電話：011-706-5755（心エコー室）